



横芝町長 實川堅司郎

調和のとれた まちづくり

年頭のあいさつ

あけましておめでとうございます。平成七年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

町民の皆様には、日頃より町政運営に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の国内経済は底をつき、徐々に回復の兆しはあるものの、なかなか助長の姿を見せず、経済進展は依然としてみられないまま、雇用等についても厳しい状況が続いております。

特に政局の面については、政治改革等一連の進展は図られたものの、国の重要な施策を行う内閣が年の中で三度も代わるといふ、かつてない国政の変動が行われてまいりました。このような状況の中で、県政においては、幕張新都市構想に引き続き、沼田知事懸案の千葉新三角構想の一つである「かずさアカデミアパーク」都市構想が実現しつつあり、圏央道建設の進展と共に、均衡ある県土づくりが着々と進められております。

町といたしましても、町総合計画による第二次基本計画に沿った事業の実施を進めて参りました。財政的にも大変厳しい中ではありましたが、議会をはじめ町民皆様の温かいご協力を頂き、ほぼ順調に事業の進捗を図ることができました。大変有り難く存じているところでございます。平成五年にオープンしたふれあい坂田池公園もジョギングやグラウンドゴルフ、ネットボールあるいは町民憩いの場

として広く利用される様になって参りました。また、昨年は栗山南部に未来永劫の平和を願って計画して参りました平和公園も完成し、環境美化等も兼ねて整備して参りました駅前広場と共にご利用頂きたいと考えております。

さて、平成七年は町が合併いたしました二月一日で丁度満四十周年を迎える節目の年でもあります。昭和三十年二月一日、横芝町、上堺村、大総村が合併して現在までに発展して参りましたが、戦後の混沌たる食糧事情と経済的困窮の中から、たくましく立ち上がって町づくりを進めて参られました諸先輩の皆様は年頭に際し、改めて心からなる感謝と敬意を表する次第であります。

この記念すべき年を迎え、二十一世紀という新しい時代に向かってふるさと横芝の未来が、どうあるべきかを町民の皆様のご応募等を頂きながら検討致して参りました町民憲章も本年二月には制定いたしましたと思っております。そして、町民の一人ひとりが楽しく、心豊かな生活が出来得る様願って参りたいと考えております。

私も町政を担当して本年六月で一期四年の歳月が流れようとしております。この間、議会はもとより町民の皆様との温かいご協力を頂き、所期の目的に向かって各種の事業を推進して参りました。町もこれからは新しい時代に即応出来るよう更に環境の整備や福祉の充実、産業の振興等活性化を図りながら調和のとれたまちづくりをしていかなければならないと考えております。

以下、平成七年度町が計画いたしてお

ります事業概要を申し述べさせていただきます。と存じます。

スポーツ広場

(二期分)の完成

野球場、テニスコート、施設管理棟、駐車場等は一期分として今年度末までに完成する予定ですが、陸上競技場、ゲートボール場は二期分として七年度に敷地造成工事に着手し、八年度末までには完成させたいと考えております。

横芝下総線

バイパス事業の推進

一昨年十一月に千葉東金道路二期の起工式が行われ、いよいよ平成八年度の桜前地先までの延伸に向けて着々と事業が進んでおります。

開通いたしますと、大総新道や県道横芝下総線の利用車両の増加が余儀なくされてくるものと思われ、懸案でありますこのバイパス事業は県事業ではありますが、七年度には、用地買収予算も計上される見込みで、町としても用地確保等にできる限りの協力をし、促進して参りたいと考えております。

駅前広場

用地購入及び施設整備

駅前広場用地のうち、駅西側部分については、平成三年度において国鉄精算事業団から取得し、平成四年度と五年度の二箇年をかけて、駐車場、駐輪場及び一部公園として整備を進めて参りましたが、本年度末には駅東側用地についても取得を予定しており、町の表玄関としてこの